

ナツ
ガク

夏学タイムズ 2022.9

NPO法人 女子中高生理工系
キャリアパスプロジェクト (GSTEM-CPP)
<https://natsugaku.jp>

Natsugaku

夏学
2022
テーマ仲間を見つけ
将来の可能性を広げよう

夏学で出会った仲間とまたどこかで！

今年のテーマは「仲間を見つけ将来の可能性を広げよう」でした。

理工系分野で活躍する先輩とはもちろん、同じ目標を持つ同年代の仲間とも出会うことができるような企画を用意しました。グループで協力してサイエンス謎解きをしたり、将来の夢や自分の悩みを共有したり、オンラインではありましたが、同じグループの仲間とたくさん交流できたと思います。夏学で体験したこと、学んだことにより、自分の考えが広がり、これからの進路選択に役に立てば嬉しく思います。夏学で出会った仲間とまたどこかで会える日が来ることを願っています。

女子中高生夏の学校 2022 学生企画委員長
河野明也子（東京農工大学 農学部）

今年も新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインでの開催となりましたが、2日間にわたり無事開催することができました。今年も開催日だけでなく、事前学習や準備を含め、長期にわたり参加・協力いただき、皆様に感謝申し上げます。今年の夏学でも、新たな出会い・学びがありました。この「出会い」が、未来に向かう動力になるような経験でありますように願っています。また、皆様に会えることを楽しみにしています。

女子中高生夏の学校 2022 実行委員長 中田よしみ（日本技術士会 / 中田技術士事務所）

1日目 8月7日(日)

9:00 開校式

中田実行委員長のあいさつから、夏学スタートです!



夏学 2022 テーマは
仲間を見つけ
将来の可能性を
広げよう

9:15 キャリア講演



女子中高生にとって魅力的な科学・技術の研究を行っている方から、現在の生活や仕事のことなど理工系進路の魅力について話を聴き、将来理工系で学ぶこと、働くことの意義や理工系進路の多様性について理解を深めます。

講演 1

私のキャリアジャーニー
～見たい!知りたいたい!やってみたい!を仕事にする～

さわ ふみ
澤 扶美さん

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
パブリックセクター 事業開発マネージャー(教育・研究)



参加者の声

- ・海外の企業で働いてる方に話を聞いてとても興味がわいた
- ・自分の好きなものを追求することが大事なのだと気付かされた
- ・何事にも挑戦し、自分のキャリアは自分で勝ち取るというメッセージが心に残った
- ・英語の大切さを改めて実感した

講演 2

想いをカタチにする仕事
～モノづくりを支えるロボット開発～

そとばやし きょうこ
外林 杏子さん

株式会社安川電機 ロボット事業部 ロボット技術部



参加者の声

- ・高校生の今は失敗や躓きを重ねても、自分としっかり向き合いながら学生生活を楽しもうと思えた
- ・好きだからこそ、大変なことがあってもその仕事が続いていけるという言葉が心に響いた
- ・ものづくりしている女性の話を聞ける機会は貴重なのでよかった
- ・「些細なことでも自分の将来とつなげることの大切さ」を学べた

ナツガクエスト 2022 はどうでしたか?
楽しんでいただけましたでしょうか??
皆さんが学校で学んでいる理科や数学はもちろん進学や研究、就職などに大切です。それだけでなく、理科や数学はとても楽しい学問です!みなさんにそのことを知ってもらおうお手伝いがナツガクエスト 2022



11:15 学生企画
「ナツガクエスト 2022」



参加者の声

- ・様々な分野の専門の方々とお話しする機会はとても貴重で、充実したものになった
- ・全然知らなかったことを知ることのできる絶好の機会だった
- ・各分野の深い話まで聞いて面白かった
- ・学会が違っていても志が皆さん驚くほど同じで、尊敬した。私が思っていたよりもたくさんの道があり、可能性が広がった

を通してできたなら、とても嬉しいです。
これからも自分の興味に向かって頑張る皆さんを応援しています。
解答は、Web サイトに再度掲載します。もし良かったら当日解けなかった問題にも挑戦してみてください!

学生企画委員 仙石 颯季
(東京工業大学 生命理工学院)

参加者の声

- ・初対面の人と話すのは少し難しかったがTAの方が色々聞いてくれたため最後の方は緊張もほぐれて楽しめた
- ・とても面白いクイズで、最後の答えも面白かった
- ・自己紹介から始めてその日初めて会った同年代の仲間と試行錯誤しながら謎解きを解けたのが純粋に楽しかった
- ・色々な県の同年代と話す機会は、すごく貴重でした

13:15 ポスターとキャリア相談
「研究者・技術者と話そう」

45 団体によるポスター展示とキャリア相談が行われました。参加生徒は 15 分ずつ興味のあるルームを訪れて、興味のある分野について質問したり、憧れの職業で働く人とお話しして交流を深めました。

【参加団体】[敬称略]
日本数学会、日本応用数理学会、日本数式処理学会、日本物理学会、応用物理学会、プラズマ・核融合学会、日本原子力学会、WiN-Japan、軽金属学会、計測自動制御学会、システム制御情報学会、日本化学会、日本結晶学会、日本農芸化学会、日本土壌肥科学会、日本蛋白質科学会、日本分子生物学会、日本生物物理学会、日本バイオメジャー学会、遺伝学普及会日本遺伝学会、日本動物学会、日本木材学会、日本生態学会、日本腎臓学会、日本地球惑星科学連合、日本地形学連合、地球電磁気・地球惑星圏学会、日本海洋学会、日本天文学会、日本気象学会、日本火災学会、土木学会、日本技術士会、女性技術士の会、日本女性技術者フォーラム、日本女性科学者の会、三菱ケミカル、リコー、花王、キオクシア、キャタピラー ジャパン、中外製薬、ニプロ、日本ロレアル、アマゾン データ サービス ジャパン、産業技術総合研究所

自由参加の「進学 & キャリア相談カフェ」では、理工系分野の研究者・技術者のいる部屋を、参加者生徒が自由に行き来して、勉強の悩みから海外留学、専門分野についての質問など、カフェのような雰囲気でおしゃべりを楽しみました。



参加者の声

- ・複数の方にアドバイスを頂けたり、相談もしやすい雰囲気で凄く勉強になりました
- ・不安に共感してもらえたり、実際の様子や具体的な解決策などが知れてよかった
- ・実験方法や大学が求める学生像など、普段は聞くことができないことを大学の先生方に質問したり相談したりすることができた
- ・リアルな学生生活や研究、勉強法を教えて頂きとても良い経験となった

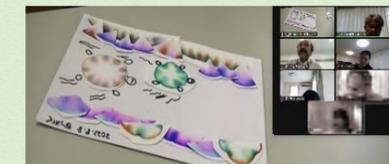
2日目 8月8日(月)

16:00 進学 & キャリア
相談カフェ

9:00
or
11:00 実験・実習
「ミニ科学者になろう」



13 の協力学会による実験がオンラインで行われました。参加生徒は事前に郵送された実験キットを使用して、講師の説明を聞きながら、実験・実習にチャレンジしました。



日本化学会「ななこアート」



日本地球惑星科学連合「サンゴ礁リーフの砂からわかる浜辺の生態環境・X線CT画像を使った岩石・堆積物試料の観察」

参加者の声

- ・本当の科学者になったかのような道具で実験できた
- ・CT画像など普段なかなか触れられない画像を見ることができた
- ・偏光板とテープだけで、こんなにも美しいアートを作れることに感動した
- ・こんなにも内容が盛り沢山でいいのかというくらいで、裏で何十時間と準備してくださった皆さんには感謝の思いでいっぱいです

13:30 学生企画
「キャリアプランニング」



今年の夏学のキャリアプランニングでは、夏学の振り返りと、数歩先の未来を歩くTAのプランを聞いていただくことを手始めに、みなさん自身の将来と、そのためにできることを考え、グループで共有していただきました。3時間の長丁場にも関わらず、最後まで積極的に参加して下さり、嬉しく思いました。これからも、新たな興味との出会いがきっとたくさんあると思います。興味が増えたり変わった後でも、夏学でのキャリアについて考える経験が、役に立つことを願っています。

学生企画委員 加藤多笑(東京大学 教養学部)

参加者の声

- ・他の人に質問やアドバイスをもらう機会はなかなかないため良い刺激になった
- ・具体的に自分の将来について考える機会はあまりなく、漠然としていたので、今回を機により深く、自分と向き合うことができた
- ・学校に女子で工学部に行きたいと思ってる友達が少ししかないが、全国にはたくさんいると知れて心強くなった

16:30 閉校式



夏学全体の感想

- ・仲間の存在を心の片隅で感じながら自分の夢に向かって勉強、経験、努力を重ねていこうと思えた
- ・理系の多様な仕事に触れると、やりたい事やりたくない事が具体的になる
- ・自分も好きなことを仕事にしようと言う決意が固まった
- ・いつか夏学に研究者・技術者として参加したいと思いました
- ・人間的にも成長し、また将来の夢への決意とモチベーションが上がりました

次年度に向けて

コロナ禍で色々な活動制限があり、夏学もオンライン開催が続きました。そろそろポストコロナ時代の新しい夏学をイメージする時が来たかと！
培ってきた夏学ポリシー（科学・技術・人との出会い）を受け継ぎつつ、安全で、そして密な（メンタルに）サイエンス体験合宿を楽しめる機会です、是非チャレンジしてみてください。地域や年齢の違いを超えてふれあい、学び、議論する主体性を持った体験は、きっと知らなかった科学の世界に触れ、新しい自分を見つけてもっと深く知る魅力的な機会になります。皆さん、今度の夏の大冒険は夏学で！お会い出来るのを楽しみにしています。

女子中高生夏の学校 2023 実行委員長 稲城玲子（日本腎臓学会 / 東京大学）

2023年夏学予定
August

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

おしらせ

女子中高生夏の学校は Web サイトや Twitter、facebook、LINE、Instagram にて、理工系キャリアパスを支援する情報を発信していきます。フォローをお願いします。

